

大阪府
學校用
興地小誌
一

76

111
55

K110.25

2a

宮本貞幹原譯
龍誠齋編述

輿地小誌 卷一

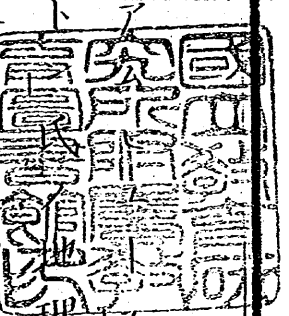
明治八年二月大阪府學務課藏



輿地小誌

凡例

此書原本ハ、
ミツト、
五氏、
下



氏及ヒ
理書ヲ參

互取捨シテ抄譯シ務メテ簡約ニ從ヒ幼
童ヲシテ各邦地理山川城邑等ノ大畧ヲ
了知セシメ以テ他日地理歴史等ノ書ヲ
讀ムノ階梯ニ供ス
一原書西人ノ著作ナルヲ以テ歐洲ニ密ニ
シテ他洲ニ疎ナリ亞細亞ノ如ク僅ニ支
那印度等ノ數邦ヲ舉ルノミ今此書ヲ編

凡例

述スルニ臨ニ諸書ニ取リ各邦ノ大畧ヲ
記載ス
國土山川人物等ノ名稱支那字ヲ以テ音
譯スルモク諸書一定セズ其呼法モ亦頗
ル異同アリ今此書多クハ輿地誌畧瀛環
志畧及ヒ地球說畧等ニ據リ務メテ人ノ
耳目ニ通慣スルモノヲ取ル
書中記スル所度量及ヒ里程等ハ悉ク本
邦ノ制ニ改ム經度ハ東京ヲ零度トナシ
各七ノ東西ニ算ス支那ノ北京ハ西經二

十三度十六分ノ如キ是ナリ

明治七年十一月

瀧誠齋誌

輿地小誌卷之一

宮本貞幹 原譯

瀧 誠齋 編述

亞細亞洲

亞細亞洲ハ、東半球ノ東北ニ位シ、南赤道接近ヨ
リ、北氷洋ニ達シ、世界陸地ノ最モ大ヒナルモノ
ニシテ、大古人類初メテ此地ニ生育シ、漸ク諸洲
ニ分布蕃殖セシト云フ、此洲中、較奇事異聞多シ
ト云フ、

境界ハ、北氷海ニ涯シ、東太平洋ニ臨ミ、白令ノ峽

ヲ隔テ北亞米利加洲ト相對シ、南印度洋ヲ擁シ、
 西烏拉山脉及ビ裏海、黑海等ニテ、歐羅巴ト界ヲ
 ナシ、又地中海、紅海ヲ隔テ、亞弗利加洲ニ對ス、又
 太平洋ヨリ、分レテ陸地ニ近キモノヲ、荷哥德斯
 科海、日本海、及ビ支那海ト云フ、印度洋ノ分レテ
 陸地ニ彎入スルモノヲ、孟加拉海、亞刺比亞海ト
 云フ、其海中大小島嶼數十アリ、

- 日本。東京
- 支那。北京
- 西藏。拉薩

蒙古。蒙爾卷 高麗。京畿道

- 西比利亞。義爾古德斯科
- 印度。甲谷他 緬甸。烏迷喇布喇
- 暹羅。曼谷 安南。ヒユ
- 比耳西亞。第希蘭
- 亞加業坦。加布利
- 皮路直坦。基拉
- 土耳其斯坦。布加利
- 土耳其。大馬士革
- 亞拉比亞。麥加

日本

亞細亞ノ東陲、太平洋中ニ在ル、四箇ノ島ニシテ、
 數ノ小島コレニ屬ス、北緯二十九度ヨリ起リ、四
 十四度ニ達ス、長サ五百余里、幅三十余里ヨリ、六
 十余里ニ至ル、不羈獨立ノ帝國ニシテ、首府ヲ東
 京ト云フ、土地膏腴、氣候溫和、人口稠密、國人靈敏
 ニシテ、義ヲ尚ビ、器具製造、頗ル精巧トリ、國內、五
 畿、八道、八十四州ニ別ツ、所産ハ、金、銀、銅、鐵、汞、錫、鉛、
 煤炭、硫、黃、樟、腦、生糸、絹、帛、水綿、五穀、烟草、茶、等、又陶

器、及ヒ漆器ノ如キ、萬國ニ冠タリト云フ、

支那

亞細亞洲中、最大ノ國ニシテ、其首府ヲ北京ト云
 フ、長城以南二十里余、順天府ニアリ、北江ト黄河
 ノ間ニシテ、北緯三十九度余、西經二十三度余十
 リ、其地、砂土平坦、城壁高サ九ソ三丈、厚サ二丈五
 尺、周圍二十六門アリ、帝居ハ、皇城ノ中ニ在リ、街
 ニアリ、外表頗ル美麗ナレド、其内面ニ至リテハ、
 甚ク粗惡ニシテ、若シ丹青ノ裝ヲ假ラザレバ、英
 國富農ノ宅ニ較優ルノミ、市街ハ概ネ狹隘ナレ

氏多クハ石ヲ陳ネ、泥砂ヲ敷キ、掃除モ行キ届キ、
 水ヲ灌ギタルユヘ、頗ル清潔ナリ、人口ニ百萬許、
 民家ハ皆柱壁等ニ着色シ、表飾ヲ競フ、茶菓穀菜、
 諸器什ヨリ、鑄匠鍛冶諸工匠ニ至リ、肆舗相連リ、
 ト策賣業、傀儡、俳優管絃ノ類、技ヲ售リ、觀ニ供シ、
 行人雜造ス、又韃靼地方ヨリ、石炭ヲ輸出スル、駱
 駝陸續トシテ至リ、菜蔬ヲ載セタル車路上ニ絡
 繹スル等、實ニ大都府ニシテ、頗ル繁華ナリ、南京
 廣東ノ如キモ、亦繁華ノ都府ナレド、此都ノ盛大
 ナルニハ遙カニ及バズト云フ、抑亞細亞洲ハ、人

口ノ多キヲ殆ンド全世界ノ半ヲ有セリ、而シテ
 洲中三分ノ一ハ支那ノ有ナリ、國人能ク勉強シ
 テ、物事ニ熟練シ、克ク勞苦ニ堪ユ、國産ハ、茶、絹帛、
 銀、砂糖及ヒ藥品類、製造品ハ、色硝子、佛像、陶器、雕
 堆等ナリ、

西藏

亞細亞ノ中央南部ニアリ、東支那ニ地ヲ接シ、西
 南喜馬拉山脉ヲ以テ、印度ニ界シ、北崑崙山ヲ隔
 テ、韃靼ニ隣シ、地勢頗ル高ク、且ツ四隣高山四時
 雪ヲ戴キ、寒風烈キヲ以テ、氣候其緯度ニ比スレ

バ、甚ダ寒冷ナリ、其首府ヲ拉薩ト云フ、人口凡ソ
五萬許、國民尤モ釋教ヲ重ンズ、僧徒ノ長ヲ法王
トシ、國內政務ノ權ヲ執ル、是ヨリ先百四十余年
前、全國支那ニ屬シ、支那ヨリ鎮臺ヲ置キ、處々ヲ
警衛ス、且毎歲支那ニ朝貢ス、其邊地ノ民ハ甚ダ
野蠻ナレド、都府ノ人民ハ頗ル文學ヲ務メ、禮讓
ヲ知ル、專ラ釋教ヲ講習スルヲ以テ主トス、國產
及ビ製造品多ク、貿易モ亦甚ダ盛ニナリ、但文學
技藝ハ男子ノ務メトシ、市店販鬻ハ皆婦女ノ任
トス、其國產ハ棗、杏、葡萄、及ヒ麥、豆等ノ果穀類、碼

腦、珊瑚、碑磔等ノ寶石、及ヒ礪砂、又馬、驢、牛、羊、雉、雞
等アリ、一種ノ大牛アリ、其尾長大ナリ、之ヲ取リ
リ、拂塵ニ造ルベシ、又一種ノ羊ヲ産ス、ソノ毛極
メテ纖細、織物ニ用ヰテ最良ノ品トス、

蒙古

支那ノ北、西北、利亞ノ南ニアリ、東、滿洲ヨリ、西、布
加利亞ニ達シ、頗ル廣大ノ國ニシテ、戈壁ノ大沙
漠、東西數百里ニ亘リ、國內概シテ平原、廣野多シ、其
首府ヲ葉爾羌ト云フ、全國支那ノ所轄ニ歸ス、其
都府ニハ、市店、佛堂、寺院等アリ、魯西亞内地ト、貿

易繁盛ナリ、然レモ曠野ニアル人民ハ多クハ天
幕ヲ張り、水草ヲ逐テ遊牧ス、國人貨物ヲ搬運ス
ル、悉ク駱駝ヲ用ユ、其土産ハ人蔘、ソノ他藥品及
ヒ玉石類、又駱駝、虎豹、熊鹿等多シ、

高麗

又朝鮮
ト稱ス

北滿州ニ界シ、南海中ニ突出シタル半島狀ノ國
ニシテ、東西南ノ三面、海ニ臨ミ、北緯三十四度ヨ
リ、四十三度ニ至ル、其東南海角、我カ對馬ヲ距ル
ノ纜カ二十余里ナリ、全國八道ニ分ツ、首府ヲ京
畿道ト云フ、國ノ中央ニアリ、國內大約肥田沃地

多シ、民俗技藝、大略支那ニ同シ、衣襟ハ明制ヲ用
ユ、國王ハ支那ノ封冊ヲ受ケ、毎歲三次、必ス支那
ニ進貢ス、又古代屢日本ヨリ征討シ、爾後朝貢シ、
或八百工技藝等ヲ獻セシマアリ、其所産ハ人蔘
ヲ第一ノ品トス、ソノ他、鐵、錫、麥、綿布等ナリ、

西北利亞

亞細亞ノ北境ニアル地ノ總稱ニシテ、其東邊ハ
白令ノ峽ヨリ、西烏拉山ニ達シ、北ハ都テ冰海ニ
瀕シ、東南、黑龍江ヲ以テ、滿州ト界ヲ接シ、阿爾泰
山脉ヲ疆テ、蒙古、韃靼ニ隣リ、西南、裏海ニ至ル、東

西凡ノ一千四百余里、南北七百余里、東部ノ首府
 ヲ義爾古德斯科ト云ヒ、西部ヲ德波爾斯科ト云
 フ、共ニ人口一萬余、學校寺院等アリ、貿易モ盛ナ
 リ、悉ク魯西亞ノ版圖ニシテ、處々ニ鎮臺ヲ置キ、
 之ヲ分轄ス、疆域廣大ナレバ、膏腴ノ壤甚ダ少ク、
 廣漠不毛ノ地多ク、人口稀疎、概テ蠢愚野蠻ニシ
 テ、轉居游牧ヲナシ、或ハ穴居シテ、漁獵ヲ事トス、
 氣候極テ寒ク、周歲三分ノ二ハ、嚴寒ノ如ク、河水
 堅氷ヲ結ス、ソノ北部海濱ノ如キハ、草木且生セ
 ズ、人跡モ至サル所アリ、其所産ハ、金銀銅鐵錫鉛

汞及ヒ金剛寶石、馬、鹿、熊、豺、狼、大犬及ヒ諸獸皮等
 ナリ、又一種ノ獸アリ、快鹿ト云フ、土人使役シテ、
 櫓ヲ曳シム、用井テ車ニ代ヘ、馬ニ代フベシ、

印度

支那ノ西ニアリ、古來莫卧爾國ノ所領ニシテ、勢
 ニ甚ダ盛ナリシガ、莫卧爾國政漸ク衰ヘ、其部下
 馬拉他ノ酋長獨立シ、又縣官叛ヲ謀リ、國勢益衰
 ヘ、終ニ英國ノ屬地トナルニ至ル、其豪族巨室多
 クハ、或ハ臣妾トナルモアリ、爾後千八百五
 十七年、我安政土人ノ兵大ニ起リ、莫卧爾ヲ回復

セシヲ謀リ、英兵ト戦ヒシガ、敗績シテ、莫卧爾
 帝ノ都府聶離陷リ、遂ニ英兵ノ為メニ平定セラ
 レタリ、是ヨリ先キ、英人印度ノ地ヲ得シヨリ、英
 ノ商社「イーストインヂヤ、コムヘニ」印度支那
 等ノ商法
 ノ為メ、英ヨリ設ニ釵跛兵印度ノ土人、英ニ雇ハ
 ケタル社ノ名、テ兵卒トナルモ人
 ヲ雇ヒテ、護衛セシメ、東印度ノ地ヲ支配セシガ、
 土人ノ蜂起ニ、釵跛兵モ應ゼシユヘ、英兵ヲ以テ
 之ヲ鎮定シタレバ、千八百五十八年我安政ヨリ、
 五年
 商社ニテ、支配シタル、印度地方ノ事務ハ、盡ク英
 ノ政府ニ歸シ、印度ハ、英國ノ所領ニ歸シタルノ

ヲ廣布セリ、而シテ首府甲谷他ニ鎮臺ヲ置キ、事
 務ヲ總轄シ、孟買及ビ麻打拉薩等ノ府ニ、副臺ヲ
 置ケリ、抑印度ハ舊國ニシテ、土地肥饒、人口稠密、
 元ヨリ礦物植物等ノ產物ニ富ミタル間ヘアレ
 凡、其人民甚貧困ニシテ、年々ノ計算、ソノ歲入ハ、
 遙カニ歲出ニ及ハズト云フ、甲谷他ハ、此國ノ首
 府ナレバ、政事堂及ビ富民ノ宅ハ、頗ル美麗ナレ
 凡、常人ノ居ハ、皆矮屋ノ三ニシテ、道路狹隘且ツ
 屈曲セリ、莫卧爾ノ帝都タリシ、亞喀喇、聶離等、今
 尚美麗ナル宮殿墓所アリ、國産ハ、諸穀、果、砂糖及

ビ藥品寶石類ナリ

緬甸

亞細亞ノ東南ニアリ、東暹羅ニ接シ、西南孟加拉灣ニ臨シ、北、西藏ニ界ス、其首府ヲ烏迷羅布刺ト云フ、元ト強大ノ國ナリシガ、屢英人ト戦ヒ、敗レテ終ニ瀕海ノ地ヲ削奪セラレ、版圖退縮ス、民俗甚タ賤陋頑愚ナリ、男女裸體ヲ常トシ、頗ル廢耻ヲ知ラス、國産ハ、金剛石、鹽硝象、鹿、牛、馬等ナリ、

暹羅

緬甸ノ東南ニアリ、東、安南ニ界シ、南海ニ臨シ、

來由半島ニ跨リ、東西峻嶮ナル山脈ヲ負ヒ、土地肥沃ニシテ、穀熟豊盛ナリ、首府ヲ曼谷ト云フ、湄南河ノ涯ニアリ、王宮及ヒ寺院等頗ル壯麗ナリ、湄南ハ頗ル大河ニシテ、洋船ヲ泊スベシ、居民大竹ヲ編ミ、筏ヲ造リ、其上ニ家屋ヲ構ヘ、水面ニ浮住ス、風俗卑陋ニシテ、半身裸體、且ツ跣足行歩ス、從來奴隸ヲ賣買スル弊風アリ、産物ハ、金、銀、錫、藤、米、鹽、白荳蔻、胡椒、諸材木、及ヒ綿、烟草、亞片、象牙、犀角等ナリ、

安南

一ニ交趾支那ト解ス

支那ノ南ニアリ、西暹羅ニ界ヲ接シ、東南都テ海
ニ瀕ス、國ヲ分テ三トナス、北部ヲ東京トシ、南部
ヲ柬埔寨トシ、中部ヲ老撾トス、首府ヲビエント
云フ、氣候暖熱、土地膏腴、草木繁茂シ、民俗概ネ支
那ニ似テ、詩文ヲ玩弄シ、衣冠モ亦略相類ス、城堡
ノ造築ハ、歐洲ニ擬シテ、甚ク堅固ナリ、其所産ハ、
金、銀、鐵、白砂糖、檳榔、肉桂、荳蔻、護謨、諸良材、及ヒ孔
雀、猿、猴、牛、犀、象等ナリ、

北耳西亞

西南灣ヲ隔テ、亞拉比亞ト相對シ、北裏海ニ臨

三東北、土耳其斯坦ニ接シ、東南亞加業斯坦及ヒ
皮路直坦ニ界ス、ソノ首府ヲ第希蘭ト云フ、國ノ
北部ニアリ、器具製造場アリテ、貿易モ盛ニナリ、
民俗頗ル聰敏、容儀端莊、好ニテ衣冠ヲ美ニス、東
部ハ地勢高燥、大半沙漠ニシテ、水草乏シク、西北
裏海ノ近傍ハ、山脉連綿シ、間沃壤アリ、草木繁茂
ス、其所産ハ、毛布、絹帛、磁器、葡萄酒、及ヒ諸果類、金
銀、銅、鐵、綿羊、驃、又良馬ヲ産ス、

亞加業坦

比耳西亞ノ東、印度ノ西ニアリテ、北、土耳其斯坦

ニ接シ、南皮路直坦ニ分界ス、域内分裂シ、民俗相
矛盾シテ、睦シカラズ、各部落ヲ為シ、首長アリ、首
府ヲ加布利ト云フ、國內沙漠多ク、山間ニハ徃々
肥沃ノ地アリ、人民半ハ家屋ニ住シ、半ハ帳幕ニ
栖三、游牧ヲ業トス、隊商ノ貿易少カラズ、所産ハ
鐵錫、礬石、硫黃、烟草及ヒ藥品、麥果實等ナリ、

皮路直坦

亞加業斯坦ノ南ニシテ、亦タ印度比耳西亞ノ間
ニアリ、南亞拉比亞海ニ臨ム、首府ノ基拉ト云フ、
域内曠野多ク、人民稀少、ソノ俗甚ダ兇暴ナリ、所

産ハ鐵、錫、鹽、及ヒ藥品、牛、羊、馬、等ナリ、

上耳其斯坦

布加利亞又獨
立、韃靼ト稱ス

北、西北利亞ニ接シ、南、比耳西亞、及ヒ亞加業坦ニ
界シ、西、裏海、及ヒ亞拉湖ニ瀕シ、東、支那、新疆ニ接
ス、概ネ沙漠瘠土ナリ、國內數箇ニ區分シ、各首長
アリテ、相隸屬セズ、ソノ中巨大ナルモ、首府ヲ
布加利ト云フ、阿母河ノ近傍ニ在リ、地較沃饒ニ
シテ、米穀ヲ産ス、内地ノ貿易盛ナリ、民俗回教ヲ
重ンシ、許多ノ寺院ヲ建テ、又多クノ學校ヲ設ケ、
盛ニ回教ヲ講習ス、西部ノ首府ヲ紀法ト云フ、

隊商ノ往來繁ク、貿易モ少カラズ、其他ノ部落多クハ游牧ノ野蠻ナリ、國産ハ、金、銀、小麥、馬、驛、羊、駱駝等ナリ、

土耳其

東、比耳西亞ニ接シ、北、黑海ニ臨ミ、南、亞拉比亞ニ連リ、西、地中海ニ瀕シ、亞細亞、歐羅巴ノ二洲ニ跨リタル國ニシテ、ソノ亞細亞ニアルヲ、亞細亞土耳其ト稱シ、首府ヲ大馬士革ト云フ、人口凡ソ六十萬、土地廣濶沃饒ナリ、街路概ネ狹隘ニシテ、且原油多シ、然レモ石ヲ敷ク、兩傍ヲ高クシテ、徒行

ニ便ス、府中ニ廣大美麗トル宮殿五百余區アリ、每殿周圍ニ溝渠ヲ廻ラシ、頗ル壯觀ナリ、又寺院多クアリ、其大ナルモノハ、深ク六百五十尺、幅ハ百五十尺許アリテ、貧民病院之ニ屬ス、此寺當今馬哈默宗ナレモ、元ハ耶蘇教ノ為ニ建テタル、大馬士革府第一ノ寺ナリト云フ、又府ノ西南部ニ一城アリ、周圍凡ソ十二丁許ナリ、築造甚々粗陋ナレモ、前面ニ方塔三所、左右ニ五所アリ、又商賈、為メニ置キタル裁判所アリテ、商法モ正シク、交易モ亦盛大ナリ、此地ハ古來ヨリ彈力アル

刀ヲ産スルヲ以テ名アリ、其他ノ物品ハ、絹、水、綿、橄欖、烟草、藥品類、海綿、及ヒ美麗ナル毛氈ヲ産ス、又一種ノ羊毛アリ、極メテ纖長ナリ、

亞拉比亞

亞細亞ノ西南隅ニアル、半島狀ノ國ニシテ、北、上、耳其ニ接シ、西、紅海ニ涯シ、南、印度洋ニ臨ミ、東、比耳西亞灣ニ瀕ス、ソノ首府ヲ麥加ト云フ、頗ル大國ナレバ、概ネ渺茫タル沙漠ニシテ、且酷熱乾燥ナルガ故ニ、耕種スベキ地ナシ、疆域ノ曠濶ナルニ比スレバ、人口稀少ナリ、其俗甚々卑陋慥悍ニ

シテ、多クハ游牧漁獵ヲナシ、或ハ劫盜ヲ業トシ、行旅ノ商客ヲ掠ム、故ニ旅商ハ必ズ隊ヲ結ビテ往來ス、ソノ國産ハ、咖啡、樹膠、沒藥、沈香、鴉片等、又騾、驢、駿馬ヲ産ス、

山岳

喜馬拉山ハ、世界無比ノ大山ニシテ、印度ノ北西藏ノ界ニ横ハリ、其高キ一ニ里余アリ、安頓、印度等ノ大川、皆源ヲ此山ニ發ス、抑二里ノ高クハ、人工ニテ造リタルモノニ比較スレバ、實ニ驚駭スベキモノナリ、英國龍動府ノ寺院ノ最モ高キ、

セントホルル区寺ノ頂ハ、纒カニ喜馬拉山ノ七十分ノ一ニ超ル能ハズ、然レモ此大山モ、全地球大ニ比スレバ、甚ダ僅小ナリ、夫レ地球ハ、直經凡ソ三千二百余里ナレバ、其外面ニアル、如是大山モ、地球ニ比スレバ、殆ンド無キガ如シ、試ニ地球儀ノ上ニ、最小ノ米粒一箇ヲ置クハ、全地球ト最大ノ高山トノ比較ヲ、輒々解シ得ベシ、故ニ地球ノ外面ハ、山海高低ニテ小差ノ凹凸アレモ、一般ニ之ヲ見ルハ、圓形ト看做スベシ、阿爾泰、黎巴嫩、トラス山等皆有名ノ大山ナリ、

亞拉羅德ハ亞細亞ノ西部ニ在ル、高山ニ一ニ亞爾彌尼亞山ト云フ、此山往昔洪水ノ時、諾威名ノ船、此山ニ停リシヲ以テ、其名尤モ着シ、高加索山、烏拉山ハ、其ニ亞細亞歐羅巴ノ界ニ跨リタル高山ナリ、
總テ地勢高キ國ヲ「テーブルランド」ト云ス、亞細亞ノ中央ニアル、西藏蒙古等ノ諸國是ナリ、又印度比耳西亞ノ内部ノ如キ、皆「テーブルランド」ナリ、洲中北部及ヒ支那等ハ、多クハ低地ニ屬ス、

江河

亞細亞洲ニハ、數多ノ大川アリ、支那、印度及ヒ西
 比利亞ニアルモノ最モ大ナリトス、
 揚子江ハ、支那ノ東南部ニ在リ、洲中最大ノ冠々
 リ、延長一千三百余里ニシテ、大平洋ニ達ス、
 安額、印度ノ二川ハ、印度ニアル大河ナリ、殊ニ安
 額河ノ近傍ハ、土地甚ダ豊饒ニシテ、ソノ流ニ沿
 フテ、數ノ都會アリ、又ソノ下流數派ニ分レ、ソノ
 一派ヲ堡屈利川ト稱ス、方今英領タル印度ノ首
 府甲谷他ハ、此川ノ涯ニアリ、
 由非刺底河ハ、比耳西亞灣ニ注ク、渺茫タル大河

ナリ、昔時巴比倫府此河ノ傍ニ在リシガ、方今ハ
 只墟趾ノ三存セリ、又歴史中屢稱スル、尼々微ノ
 都ハ、此川ノ分流地、革利斯川ノ涯ニアリシナリ、
 ソノ古趾ハ、近年英人之ヲ發見シ、大ヒナル古碑
 ノ類ヲ、多クソノ國ニ持テ歸リタリ、皆三千年間、
 地中ニ埋藏セシモノナリト云フ、
約坦河ハ、亞細亞ノ西部、不利斯底尼ニアル名川
 ナリ、不利斯底尼ハ、著名ナル國ナレド、壤地至テ
 褊小ナリ、而シテ此川ハ、大平洋ニ注カズ、死海ニ
 流ル、

西比利亞ニアル諸川ハ、皆北氷海ニ注グ、ソノ海
寒ノ地ニ至テハ、水面氷結ス、衆流中最モ大ヒナ
ルモノヲ、日尼塞河ト云フ、

湖

世界中最モ大ヒナル湖ヲ、加斯斑海又裏海ト云フト云
フ、亞細亞ノ西界ニアリテ、ソノ小半ハ、歐羅巴ニ
屬ス、又亞拉湖アリ、此二湖共ニ鹽氣アリ、
貝加爾湖ハ、西比利亞ノ南部ニアル、大湖ニシテ、
延長數百里アリ、然レモ淡水ノミニシテ、鹽氣ナ
シ、

死海ハ、亞細亞上耳其中不利斯底尼ノ地ニアル
湖ニテ、鹽氣至テ多ク魚類モ生活セズト云フ、
其他支那、西藏、比耳西亞、亞細亞、土耳其等ニ、數多
ノ湖水アリ、

島嶼

亞細亞ニ屬スル所ノ諸島、其數甚ダ多シ、大抵ハ
此洲ノ東南方ニアリ、ソノ著シキ者ハ臺灣、瓊州、
及ヒ錫蘭等ナリ、又多島海中ニシテ、アラバ等ノ島
アリ、此島及ヒ錫蘭ハ、土地豊饒ニシテ、肉桂、椰子、
咖啡ノ類及ヒ金屬寶石等ヲ産ス、

氣候

亞細亞洲ハ、最モ廣大ナルヲ以テ世界中ノ最熱ノ地ト、最寒ノ地アリ、
 洲ノ中央支那ノ地、過半ハ總テ温和ノ地ナレド、
 冬時寒烈シク、夏月暑強キヲアリ、其北部西比利亞ハ、寒氣凜烈ニシテ、一歲中九月間ハ、寒氣ノ候ナリト云フ、又印度比耳西亞、亞拉比亞、亞細亞土耳其、及ヒ支那ノ南部等ハ、皆熱國ナリ、
 東印度ノ諸島モ、亦夕熱地ト雖モ、此數國ニ比スレバ、却テ熱甚シカラズ、其所以ハ、海風四面ヨリ

來リ、常ニ空氣ヲ拂ヒ冷マセバナリ、

人民

亞細亞ハ、人民多クシテ、全世界ノ半ヲ有シ、大凡ソ四億以上ノ人口ナリ、然レモ、其北部西比利亞及ヒ西部等ハ、人民稀少ニシテ、支那、印度等ハ、人口尤モ稠密ナリ、又亞細亞土耳其ハ、各種ノ人民混合シ、言語風俗モ各異ナリト雖モ、悉同政府ニ統轄ス、

亞拉比亞ノ人民ハ、多クハ天幕ヲ張り野處シ、獸畜ノ群ヲ率ヒテ、沙漠中ヲ遍歴ス、此國ハ、元ヨリ

水ニ乏シキヲ以テ、定リタル都府モ無ク、又地ヲ耕ヤシ、穀菜ヲ種ルヲ能ハズ、故ニ古來ヨリ人民家屋ノ設ケ無ク、只牧畜ヲナシ、遍歴シテ生ヲ送レリ、比耳西亞又蒙古ノ人民モ、亦多クハ家屋ノ設ケ無ク、天幕ニテ住スト云フ、

興地小誌卷之一終